



平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 パシフィックネット

コード番号 3021 URL <http://www.prins.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 上田 満弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 菅谷 泰久

TEL 03-5730-1442

四半期報告書提出予定日 平成24年1月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	1,643	△3.9	72	—	75	—	40	—
23年5月期第2四半期	1,709	—	△61	—	△56	—	△55	—

(注) 包括利益 24年5月期第2四半期 40百万円 (—%) 23年5月期第2四半期 △59百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	1,581.23	—
23年5月期第2四半期	△2,182.00	—

(注) 23年5月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、23年5月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第2四半期	2,419	1,672	67.6
23年5月期	2,487	1,660	65.2

(参考) 自己資本 24年5月期第2四半期 1,635百万円 23年5月期 1,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	1,100.00	1,100.00
24年5月期	—	0.00	—	1,100.00	1,100.00
24年5月期(予想)	—	—	—	1,100.00	1,100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,795	10.0	136	—	142	—	58	—	2,278.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は四半期決算短信(添付資料)4ページ「会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期2Q	25,875 株	23年5月期	25,875 株
② 期末自己株式数	24年5月期2Q	— 株	23年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期2Q	25,875 株	23年5月期2Q	25,304 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は以下のとおり機関投資家、アナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

平成24年1月20日(金) 機関投資家、アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項.....	4
会計上の見積りの変更.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) セグメント情報等.....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11
(7) 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用.....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の発生及び福島第一原子力発電所事故の影響から徐々に立ち直り、復興需要の高まりもあるものの、欧州の財政問題・米国の景気停滞懸念等から極端な円高状況が続き、景気の先行きが極めて不透明なまま推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、景気低迷もあり、ウィンドウズ7への切換えも予想を下回り、一方でiPad等を始めとしたタブレット端末の急速な普及でリユース品の低価格が進展する等、中古情報機器業界全体が厳しい状況で推移いたしました。

このような環境下、中古情報機器の仕入から販売に至る迄のプロセスを大幅に見直す等、徹底したコスト削減を実施いたしました。また、支店・店舗の統廃合を前期に実施したこと等も当期収益に寄与いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,643,251千円（前年同四半期比3.9%減）、営業利益72,592千円（前年同四半期は営業損失61,718千円）、経常利益75,719千円（前年同四半期は経常損失56,973千円）、四半期純利益40,914千円（前年同四半期は四半期純損失55,214千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①引取回収・販売事業

引取回収事業は、主要仕入先のリース・レンタル会社と一般法人等への仕入強化の一環として、本年6月に本部営業組織を一本化し、首都圏を中心に営業を強化いたしました。また、当社出資会社の「株式会社スマート スタイル クリエイト」において、買取り・販売を開始し、中小企業及び個人への仕入を強化いたしました。

販売事業は、インターネット通販についてはコンシューマーモデルを充実させ、また、ショップについてはペリフェラル・防災・節電グッズ等、魅力的な店作りで集客力を飛躍的に増加させる等、個人向け販売だけではなく、一般法人向け販売も強化し、種々の改革を実施いたしました。しかしながら、主に販売単価の下落や大口入荷が期ずれしたことの影響を受け、減収とはなりましたが、継続的にコスト削減を実施いたしました結果、売上高1,341,021千円（前年同四半期比4.6%減）、営業利益8,884千円（前年同四半期は営業損失119,256千円）となりました。

②レンタル事業

レンタル事業は、官公庁・自治体等の一般競争入札等の案件に積極的に参加する一方、一般法人の新規開拓営業に注力いたしました。また、これまでのPCを中心としたラインナップにタブレット端末やスマートフォン等を追加し、レンタルニーズの多様化に対応した営業を推進いたしました。また、レンタル資産の取得については、仕入の在庫管理を徹底し、コスト削減を図りました。

この結果、売上高302,229千円（前年同四半期比0.8%減）、営業利益63,707千円（前年同四半期比10.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、2,419,496千円(前連結会計年度末比68,340千円減)となりました。

この内、流動資産は1,550,856千円(前連結会計年度末比15,567千円増)となりました。これは主に商品が43,483千円、現金及び預金が34,715千円それぞれ増加し、売掛金が58,512千円減少したことによるものです。

固定資産は868,640千円(前連結会計年度末比83,908千円減)となりました。これは主にレンタル資産(純額)が68,478千円、有形固定資産その他(純額)が22,717千円それぞれ減少したことによるものです。

負債は746,982千円(前連結会計年度末比80,787千円減)となりました。

この内、流動負債は494,920千円(前連結会計年度末比15,343千円増)となりました。これは未払法人税等が48,824千円増加し、1年内返済予定の長期借入金が33,332千円減少したことによるものです。

固定負債は252,061千円(前連結会計年度末比96,130千円減)となりました。これは主に長期借入金が83,332千円減少したことによるものです。

純資産は1,672,514千円(前連結会計年度末比12,446千円増)となりました。これは利益剰余金が12,451千円増加したことによるものです。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は67.6%(前連結会計年度末は65.2%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ34,715千円増加し、1,092,031千円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は292,205千円(前年同四半期に使用した資金は20,517千円)となりました。

収入の主な内訳は、減価償却費139,612千円、税金等調整前四半期純利益74,883千円、売上債権の減少額58,512千円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額43,674千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は100,318千円(前年同四半期に使用した資金は172,226千円)となりました。これは主に、レンタル資産を始めとする有形固定資産の取得による支出96,793千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は157,464千円(前年同四半期に得られた資金は499,900千円)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出116,664千円、配当金の支払額27,715千円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期(平成23年6月1日から平成24年5月31日まで)の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び下期計画を見直した結果、平成23年7月15日公表の連結業績予想数値から修正はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

会計上の見積りの変更

レンタル資産の低価格化に伴い、購入状況及び使用状況について見直しを行った結果、レンタル資産の一部についてより実態に適合した耐用年数に変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は、それぞれ7,252千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,057,316	1,092,031
売掛金	243,038	184,525
商品	163,605	207,089
その他	84,840	78,598
貸倒引当金	△13,512	△11,389
流動資産合計	1,535,288	1,550,856
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産	1,049,258	938,841
減価償却累計額	△589,108	△547,170
レンタル資産(純額)	460,149	391,671
その他	547,922	544,748
減価償却累計額	△362,590	△382,134
その他(純額)	185,331	162,613
有形固定資産合計	645,481	554,285
無形固定資産	12,492	9,409
投資その他の資産		
差入保証金	215,383	214,861
その他	79,452	90,388
貸倒引当金	△261	△304
投資その他の資産合計	294,574	304,945
固定資産合計	952,548	868,640
資産合計	2,487,837	2,419,496
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,840	125,505
1年内返済予定の長期借入金	216,670	183,338
未払法人税等	307	49,132
商品保証引当金	3,732	4,352
その他	135,025	132,592
流動負債合計	479,577	494,920
固定負債		
長期借入金	216,671	133,339
資産除去債務	75,865	76,152
その他	55,655	42,570
固定負債合計	348,191	252,061
負債合計	827,769	746,982

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	432,750	432,750
資本剰余金	525,783	525,783
利益剰余金	664,530	676,982
株主資本合計	1,623,063	1,635,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△14
その他の包括利益累計額合計	—	△14
少数株主持分	37,003	37,013
純資産合計	1,660,067	1,672,514
負債純資産合計	2,487,837	2,419,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
売上高	1,709,967	1,643,251
売上原価	908,247	854,194
売上総利益	801,719	789,056
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	287,145	261,059
地代家賃	175,125	155,295
その他	401,167	300,109
販売費及び一般管理費合計	863,438	716,464
営業利益又は営業損失(△)	△61,718	72,592
営業外収益		
受取利息	62	47
受取配当金	6	—
受取家賃	2,183	1,457
受取賃貸料	3,946	2,690
貸倒引当金戻入額	—	2,078
雑収入	697	1,760
営業外収益合計	6,894	8,034
営業外費用		
支払利息	1,794	2,785
為替差損	355	2,122
営業外費用合計	2,149	4,907
経常利益又は経常損失(△)	△56,973	75,719
特別利益		
固定資産売却益	220	—
特別利益合計	220	—
特別損失		
固定資産売却損	18	835
固定資産除却損	193	—
投資有価証券売却損	60	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,655	—
特別損失合計	37,928	835
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△94,681	74,883
法人税、住民税及び事業税	2,148	44,927
法人税等調整額	△37,123	△10,967
法人税等合計	△34,975	33,959
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△59,705	40,924
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4,490	9
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△55,214	40,914

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△59,705	40,924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△14
その他の包括利益合計	△2	△14
四半期包括利益	△59,707	40,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△55,217	40,899
少数株主に係る四半期包括利益	△4,490	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△94,681	74,883
減価償却費	168,791	139,612
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,008	△2,080
商品保証引当金の増減額(△は減少)	985	619
受取利息及び受取配当金	△68	△47
支払利息	1,794	2,785
売上債権の増減額(△は増加)	△11,240	58,512
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,276	△43,674
仕入債務の増減額(△は減少)	△53,314	1,664
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,655	—
その他	△37,062	65,995
小計	4,592	298,271
利息及び配当金の受取額	29	9
利息の支払額	△2,891	△2,197
法人税等の支払額	△22,247	△3,878
営業活動によるキャッシュ・フロー	△20,517	292,205
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△165,721	△96,793
無形固定資産の取得による支出	△2,185	△650
その他	△4,319	△2,875
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172,226	△100,318
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△66,665	△116,664
少数株主からの払込みによる収入	44,100	—
自己株式の処分による収入	53,240	—
配当金の支払額	△26,670	△27,715
その他	△4,104	△13,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	499,900	△157,464
現金及び現金同等物に係る換算差額	194	293
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	307,351	34,715
現金及び現金同等物の期首残高	792,889	1,057,316
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,100,240	1,092,031

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額
	引取回収・販売事業	レンタル事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,405,356	304,611	1,709,967	1,709,967
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,405,356	304,611	1,709,967	1,709,967
セグメント利益又は損失 (△)	△119,256	57,537	△61,718	△61,718

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書に計上された営業損失が一致しているため、該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額
	引取回収・販売事業	レンタル事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,341,021	302,229	1,643,251	1,643,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,341,021	302,229	1,643,251	1,643,251
セグメント利益	8,884	63,707	72,592	72,592

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書に計上された営業利益が一致しているため、該当事項はありません。

3 会計方針の変更等

(会計上の見積りの変更)

「会計方針の変更等(会計上の見積りの変更)」に記載のとおり、レンタル資産の一部について、第1四半期連結会計期間より耐用年数を変更しております。
この変更により、従来の方法に比べてセグメント利益が「レンタル事業」において7,252千円増加しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)
該当事項はありません。

(7) 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。